

令和 7 年 度

精 華 高 等 学 校

第 1 7 回 学校評価結果報告書

I 学校経営計画

II 学校評価

(1) 教職員自己評価

(2) 保護者自己評価

III 学校協議会

IV 総合評価

V 資料

精華高等学校 学校評価委員会

I 学校経営計画

校長 正川 昌彦

(1) 本校が目指す学校像

- 1 建学の精神（社会に有為な人材を育成する）および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導を充実させ、基本的生活習慣の確立とマナーの向上をめざす。挨拶がしっかり出来て、時間を守り美化意識の高い生徒を育成する。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の充実・発展をめざす。また、各コースの特徴を強く打ち出すと共に専門性を高める。特に探究授業に特徴を持たせ、生徒の主体性を伸ばす教育を行う。
- 5 SG コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 FA コースの生徒を手厚く育てる。不登校特例校の特例を生かし、本校独自の教育を行う。不登校生に対する対策を講じ、学校復帰をめざす。
- 7 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

(2) 中期的目標【到達目標として】 (Do)

- 1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。
- 2 本校特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブである硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部の強化をめざす。また、他の運動部・文化部においても、部活動の活性化を図る。それらの活動を通じて地域社会に貢献して行く。
- 3 NS コース
高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。NS 探究などコース独自の授業を充実させ、広報活動を活発に行い生徒募集につなげる。
- 4 SA コース
勉強・部活動ともに頑張る生徒を育てる。各自自己をしっかりと分析し、それぞれの将来像を描かせる。

5 i-Tech コース

情報社会で主体的に活躍できる人材の育成をめざす。情報に関する検定を受験させ、コースとして合格率 80%以上をめざす。また、情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。希望進路を実現する。

6 EW（環境福祉）コース

高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。納得より理解が出来る、また、相手の立場を考えることの出来る生徒を育てる。丁寧な言葉遣いが出来る、美化意識の高い生徒の育成を図る。

7 SG コース

全学年において、確実な学力の担保を図り、大学進学実績の向上をめざす。SG コースにおいては、多様なカリキュラムを通じて実力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。具体的には関関同立・四女子大学の合格者を複数出すことをめざす。

8 FA（フリーアカデミー）コース

特色ある授業や体験実習を通じて、素直で思いやりのある心を育てる。多様な問題を抱える生徒、一人ひとりの状況に寄り添い、学校生活を楽しく送ることが出来るような環境を整える。一人も取りこぼさず、進級・卒業をめざす。コースの基礎を確立する。

9 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。生徒の美化意識を高める。保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を、引き続き検討して行く。

10 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。SNS 等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。

Ⅱ 学校評価

(1) 教職員自己評価 (Check)

《参考》①～⑩については過去 10 年間の結果です。

結果) 00.0%は令和 7 年度の調査結果です。

①2015 (H27) ②2016 (H28) ③2017 (H29) ④2018 (H30) ⑤2019 (R 1)

⑥2020 (R 2) ⑦2021 (R 3) ⑧2022 (R 4) ⑨2023 (R 5) ⑩2024 (R 6)

* 調査結果の%表示については、すべて小数点以下を四捨五入した数値です。

■学校運営

◆私学の独自性

* 建学の精神 (教育目標) について

〔設問〕 建学の精神 (教育目標) が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.4%

推移) ①45% ②44% ③39% ④29% ⑤40% ⑥25% ⑦47% ⑧29% ⑨46% ⑩43%

* 愛校心について

〔設問〕 教職員、在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 56.8%

推移) ①43% ②32% ③34% ④21% ⑤30% ⑥25% ⑦37% ⑧24% ⑨35% ⑩57%

◆教育課程

* 学習指導要領の対応状況

〔設問〕 教育課程は学習指導要領に沿っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 86.5%

推移) ①90% ②87% ③89% ④91% ⑤83% ⑥89% ⑦87% ⑧83% ⑨86% ⑩97%

〔設問〕 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89.2%

推移) ①45% ②44% ③39% ④29% ⑤40% ⑥86% ⑦80% ⑧88% ⑨92% ⑩92%

◆教職員連携

* 教員・教科間連携状況

〔設問〕 教員間・教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 67.6%

推移) ①48% ②47% ③39% ④35% ⑤53% ⑥61% ⑦57% ⑧64% ⑨68% ⑩78%

***教員と事務職員の連携状況**

〔設問〕 教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 54.1%

推移) ①50% ②42% ③42% ④50% ⑤47% ⑥68% ⑦57% ⑧62% ⑨54% ⑩46%

***会議の有効性**

〔設問〕 教職員会議をはじめ各種会議が、有効かつ効率的に機能している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 43.2%

推移) ①23% ②29% ③26% ④23% ⑤17% ⑥36% ⑦20% ⑧29% ⑨41% ⑩30%

◆財務関係

***財務に関する意識**

〔設問〕 学校の経営指標と財務状況について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 27.0%

推移) ①18% ②13% ③16% ④15% ⑤20% ⑥14% ⑦10% ⑧14% ⑨19% ⑩30%

***評議員・理事会機能について**

〔設問〕 評議員会、理事会の役割や機能について理解している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 16.2%

推移) ①25% ②18% ③11% ④12% ⑤17% ⑥18% ⑦20% ⑧7% ⑨22% ⑩22%

◆情報公開

***ホームページの活用状況**

〔設問〕 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 97.3%

推移) ①75% ②69% ③55% ④65% ⑤70% ⑥79% ⑦77% ⑧76% ⑨70% ⑩81%

***授業公開状況**

〔設問〕 保護者などへ授業を公開している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.4%

推移) ①23% ②29% ③26% ④23% ⑤17% ⑥46% ⑦37% ⑧43% ⑨41% ⑩51%

◆危機管理

*役割分担について

〔設問〕 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 75.7%

推移) ①80% ②80% ③68% ④62% ⑤70% ⑥68% ⑦77% ⑧83% ⑨78% ⑩89%

*危機管理対応状況

〔設問〕 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 83.8%

推移) ①61% ②62% ③53% ④65% ⑤53% ⑥64% ⑦67% ⑧67% ⑨78% ⑩84%

◆開かれた学校づくり

*地域交流について

〔設問〕 地域や地域住民との交流ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 56.8%

推移) ①52% ②49% ③61% ④59% ⑤60% ⑥64% ⑦47% ⑧33% ⑨60% ⑩57%

★学校運営に関する今後の改善方策 (Action)

建学の精神および教育目標を、教職員・生徒に浸透させる必要がある。今年度の肯定的意見は51.4%である。教職員・生徒の愛校心については、56.8%の肯定率とまだまだ充分ではないが、昨年に引き続き過去の数値と比べると大幅に上昇している。

保護者評価における「精華高校の社会における評判はよい」の項目の肯定的意見は52%である。本校の社会的評価を上げるために、更なる教育内容の充実が求められる。進学率および進学実績の向上を図る。また、地域に貢献できるコース活動、部活動を推し進めることにより、精華高校の社会的評価を高めると同時に、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。ただし、保護者評価における精華高校の評価は各項目において全般的に高い。

また、学校協議会においても本校に対する評価は高く、地域に期待されていることがわかる。

学習指導要領の対応状況は高評価である。シラバス作成は引き続き行うと共に、内容を充実させる。

教員・教科間連携についても、肯定的評価が67.6%と昨年の78%から低下した。教員間の信頼感の醸成のために、教科会議の有効な活用を促す。また、効率的で有効な会議の運営を、各リーダーが率先して工夫していく必要がある。会議の有効性の肯定的評価は上がっている。

財務関係および評議員・理事会機能については、情報の発信を積極的に行い、教職員の啓発に努める。

ホームページの更なる充実を図り、開かれた学校作りを推し進める。一斉メールの有効な活用により、学校の危機管理体制を不断に強化し、見直して行く。

地域交流については、積極的に行われている。本校は地元との結びつきは強い。

■教育内容

◆情報教育

*情報能力育成

〔設問〕生徒の情報活用能力の育成を図っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 64.9%

推移) ①39% ②42% ③32% ④35% ⑤47% ⑥57% ⑦37% ⑧55% ⑨51% ⑩54%

*情報モラル指導

〔設問〕情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 62.2%

推移) ①39% ②36% ③58% ④24% ⑤47% ⑥57% ⑦37% ⑧43% ⑨49% ⑩62%

◆人権教育

*研究体制

〔設問〕人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を、教員が研究する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 48.6%

推移) ①37% ②30% ③22% ④37% ⑤30% ⑥29% ⑦33% ⑧31% ⑨43% ⑩46%

*教育体制

〔設問〕人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.4%

推移) ①45% ②27% ③32% ④35% ⑤34% ⑥50% ⑦30% ⑧31% ⑨54% ⑩51%

◆環境教育

*環境問題意識の向上

〔設問〕ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 27.0%

推移) ①23% ②25% ③18% ④21% ⑤27% ⑥21% ⑦20% ⑧26% ⑨41% ⑩43%

*実践的態度の育成

〔設問〕生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また施設・設備を大切にする心を育成している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①32% ②32% ③51% ④42% ⑤40% ⑥36% ⑦37% ⑧43% ⑨41% ⑩59%

◆健康・食育

*健康・食に関する指導について

〔設問〕健康教育、食育などにも配慮している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 21.6%

推移) ①16% ②9% ③18% ④24% ⑤10% ⑥11% ⑦13% ⑧17% ⑨16% ⑩19%

◆生徒会活動

*生徒会支援状況

〔設問〕生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活用できるように学校全体で支援している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 67.6%

推移) ①22% ②36% ③29% ④65% ⑤50% ⑥46% ⑦57% ⑧50% ⑨64% ⑩76%

◆その他

*読書推進

〔設問〕図書館の利用促進など読書指導に取り組んでいる。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 32.4%

推移) ①34% ②29% ③21% ④12% ⑤17% ⑥18% ⑦13% ⑧21% ⑨24% ⑩27%

*部活動

〔設問〕部活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 91.9%

推移) ①52% ②51% ③53% ④53% ⑤70% ⑥82% ⑦87% ⑧71% ⑨83% ⑩95%

*ボランティア

〔設問〕ボランティア活動は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 51.4%

推移) ①36% ②27% ③24% ④9% ⑤33% ⑥18% ⑦13% ⑧21% ⑨49% ⑩60%

*学校行事

〔設問〕体育祭、文化祭などの学校行事は活発である。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 91.9%

推移) ①71% ②65% ③63% ④65% ⑤77% ⑥43% ⑦67% ⑧81% ⑨89% ⑩89%

＊スポーツ・芸術文化

〔設問〕スポーツ活動、芸術文化活動を計画的に教育活動に取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 81.1%

推移) ①75% ②53% ③61% ④56% ⑤73% ⑥57% ⑦53% ⑧67% ⑨62% ⑩78%

＊国際理解

〔設問〕他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 18.9%

推移) ①36% ②18% ③24% ④9% ⑤27% ⑥11% ⑦10% ⑧14% ⑨24% ⑩19%

★教育内容に関する今後の改善方策（Action）

最新の設備を備えた E ルーム（ICT 教室）では、オンライン英会話をはじめ、新時代の授業が意欲的に行われている。全館 ITC 化に伴い、時代の要請である教育のデジタル化を推進し、授業の改革を鋭意進めている。令和 4 年度から始まった「新学習指導要領」に合わせて、新コース（5 コース）を立ち上げ、カリキュラムを一新した。普通科の中ではあるが、各コースは非常に特徴的な教育内容を持っている。生徒一人に一台のタブレットを持たせ、「主体的な学び」を積極的に推進するとともに、情報化社会における様々な情報活用能力を養っている。2 年目に入ったフリーアカデミー（不登校生対応）コースは、充実した教育活動が行われている。教育関係者の視察も多く、高い評価を得ている。

時代状況に鑑み、情報教育を充実させて行く。携帯電話の校内持ち込みに伴い、携帯のマナー教育、また、急速な情報化社会の進展に伴い、情報モラル教育を強化する。

人権教育の研究体制や教育体制については、効果的な方法を模索していく。環境問題意識についても同様である。校舎内壁の張り替えや、生徒トイレの全館リニューアル（洋式化）に伴い、生徒の校内美化に対する意識は以前より高まったが、更に実践的態度の育成に努めたい。学校食堂については、来年度からの経営者の交代に伴い、生徒のニーズに合わせた魅力的な食堂にして行く。

生徒の自主的な活動としての生徒会活動については、生徒の要求の吸い上げを更に図っていく。学園祭等において、生徒の自主性が育ってきている。生徒会の活動は充実してきている。今後、この方向を更に推進したい。

読書指導、国際理解・国際交流について依然本校は弱い。各担当で具体的な方針を立てるように促す。図書デジタル化に取り組む。部活動の活性化は、本校教育の重要な柱と位置づけている。特別強化クラブとして吹奏楽部を、強化クラブとして硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部を指定している。学園として、部活動を支援する体制が整って来ている。また、強化クラブを中心に、近畿大会・全国大会出場など実績が上がってきている。部活動・文化活動の盛んな精華高校が姿を現している。

■生徒指導・支援

◆生徒指導

*指導方針の一貫性

〔設問〕生徒指導は学校の方針に従っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 94.6%

推移) ①78% ②76% ③68% ④68% ⑤77% ⑥61% ⑦87% ⑧83% ⑨89% ⑩97%

*生活指導について

〔設問〕生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 89.2%

推移) ①82% ②71% ③74% ④68% ⑤73% ⑥64% ⑦83% ⑧69% ⑨73% ⑩95%

*家庭との連携状況

〔設問〕生徒指導において、家庭との連携ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 94.6%

推移) ①82% ②87% ③89% ④82% ⑤80% ⑥79% ⑦93% ⑧81% ⑨84% ⑩97%

◆生徒支援

*学習指導

〔設問〕学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 78.4%

推移) ①61% ②73% ③63% ④56% ⑤67% ⑥68% ⑦67% ⑧62% ⑨68% ⑩87%

*カウンセリング体制

〔設問〕カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある。スクールカウンセラーの活用ができている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 81.1%

推移) ①64% ②65% ③71% ④79% ⑤87% ⑥64% ⑦77% ⑧67% ⑨78% ⑩92%

*進路指導について

〔設問〕生徒一人ひとりの興味・関心・適正に応じた進路、選択ができるような支援体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 73.0%

推移) ①77% ②60% ③58% ④56% ⑤70% ⑥71% ⑦80% ⑧57% ⑨68% ⑩81%

★生徒指導・支援に関する今後の改善方策（Action）

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から理解され、評価されている。さらに期待に応えられるように努力する。ただし、時代の要請に合わせて、見直すべき点は柔軟に見直して行く。進路指導についても、生徒の多様な進路希望に応えられる、丁寧なきめ細かい指導を堅持したい。今年度は、関大・関学の現役合格者が出た。今後、難関大学の合格実績を上げ、本校の社会的評価を上げて行く。進路の情報発信においては、保護者の要望が強い。充実した進路情報の発信に努める。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っている。更に工夫された、わかりやすい学習指導を行いたい。

■教員研修・資質向上

◆教員研修

*教員の資質向上について

〔設問〕教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 32.4%

推移) ①42% ②50% ③42% ④45% ⑤41% ⑥32% ⑦20% ⑧24% ⑨32% ⑩38%

*校内研修

〔設問〕効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 43.2%

推移) ①64% ②38% ③42% ④47% ⑤30% ⑥29% ⑦33% ⑧36% ⑨23% ⑩37%

*初任者サポート状況

〔設問〕初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 37.8%

推移) ①43% ②45% ③37% ④24% ⑤23% ⑥39% ⑦30% ⑧22% ⑨46% ⑩38%

*校外研修

〔設問〕教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 40.5%

推移) ①32% ②42% ③39% ④44% ⑤23% ⑥32% ⑦37% ⑧41% ⑨32% ⑩35%

*研修成果の共有状況

〔設問〕研修、研究に参加した成果を、他の教員に伝えて情報を共有する体制がある。

◎ 肯定的見解の割合

結果) 24.3%

推移) ①18% ②20% ③21% ④18% ⑤10% ⑥22% ⑦13% ⑧10% ⑨19% ⑩16%

★教員研修・資質向上に関する今後の改善方策（Action）

教員研修・資質向上は、年間を通じてもっと充実させなければならない。抜本的に見直す必要がある。また、専門的な知識はもちろん、一般教養についても、教員各自の自己研鑽を強く求める。

(2) 保護者自己評価 (Check)

1 調査目的

- ① 学校に対しての意見・要望、満足度を把握する。
- ② 保護者・教員間の連携を強化し、生徒の学校生活に活かす。

2 実施方法

令和8年2月13日に担任より各家庭に配布。2月24日を期日として回収終了。

調査は無記名。回収は141件。

各項目を以下の4段階にて評価。A Bを肯定的評価 C Dを否定的評価とする。

- | | |
|--------------|---------------|
| A よくあてはまる | B ややあてはまる |
| C あまりあてはまらない | D まったくあてはまらない |

3 結果報告

① アンケート結果

冊子P18に掲載させていただきます。

② 〔ご意見・ご要望〕

【生徒指導について】

- ◆ロッカーを鍵付きにすれば盗難が減ると思います
- ◆学校で起こっている問題に対し、軽視し過ぎである。問題解決をする行動や再発防止がなされていない。
- ◆生徒に挨拶などを徹底している割に、保護者や先生方の意識はやや低めだと感じる。せっかく生徒がしているのだから大人が見本になるべきだと思う節がある。
- ◆授業中うるさくしている生徒がいて、先生の注意もきかないので教室の雰囲気が悪く、嫌な気分になる時があるそうです。
他、先生が生徒に対して「お前」と呼ぶ事があるらしく、きつく感じると言っていました。
- ◆授業中にうるさい生徒がいると聞いてます。対処、是正をお願いします。

【学習指導について】

- ◆いつもご指導有難う御座います。テスト前、範囲教えてくれるのが遅い。
早くからテスト勉強にかかりたいと、いつも言ってます。
- ◆化学の授業が分かりにくい様です。この様な子供の意見にもっと寄り添って頂きたいですし、改善への対処を検討してもらいたいです。
- ◆英語コミュ授業に対してですが、授業の進行がテスト前迄に終わってない。プリント保存の仕方等を急な変更があり戸惑っています。
普段から授業の進め方で変更が多いようです。先生が前と言ったこと違うとなると、授業内容も頭に入ってこなくなるので変更する場合も納得する説明してあげてください。
- ◆回答の選択肢に『わからない』とか『知らない・把握していない』という選択肢がないので、非常に答えにくかったです。致し方がなく適当に選びました。
わたしの感覚としては、もう少し検定や資格取得に向けて熱心に自宅で勉強してくれていたら、学校が熱心に教育してくれているのかな、と思うのですが、うちの子がただ先生方の指導をかわしているのかはわかりませんが、家で勉強する、と言うことがほとんどなく、それが心配をしています。
『お勉強』が苦手なのは知ってるのでそれはいいのですが、例えばブラインドタッチを家でも練習するとか、パソコンの検定に合格するように家でもパソコン使わせて～と自分から言うことがないとか、その辺が若干大丈夫かな？と思っています。
料理が好きで料理進んでしてますので、そこはいい事だと思っていますが、せっかく I-tech コ

ースにはいったので、もう少しパソコンスキルや、今の時代であれば発信スキル、動画編集スキルが身につけてくれたらいいな、と親としては願っています。

【 進路指導について 】

- ◆今は一年生ですか、本当の評価は卒業後に出ると思うのでそこが1番の楽しみです。
- ◆もう少し進路や、これから受験に対する対応などが親切なら嬉しく思います。
三者懇談などでもいつも思うのは、すぐ「出来る子供は」とか「自発的に聞いて来たり」とか、他人と比べられたりする。1人1人違うし、人見知りしたり、いいたくても言えなかったりとあると思うのです。
三者懇談行く度に、本当にこの先生で大丈夫なのか、出来る子と比べられて、最後最終的に「まあどこか行く所あるのでは」と言われそうで不安です

【 学校環境・設備についてとその他項目 】

- ◆学校に通いやすくなるように様々な工夫をしていただいております、素晴らしいコースを作っていただいた事に大変感謝しております。
- ◆保護者が学校と連絡するフォーマットが構築されているので助かる。学校生活において教師が子供にコミュニケーションとりながら相談に乗ってくださるので話しやすく助かっております。
- ◆毎日楽しく通っています。ありがとうございます。
- ◆限定の案内を、もう少しきちんとして頂きたいです。
- ◆担任の指導力不足
- ◆いつもありがとうございます。楽しく学校生活を送っています。これからもよろしくお願いします。
- ◆職員室で声をかけたが、誰も反応してくれず困った。
- ◆設備の老朽化は仕方がないことですが、破損している教室の扉などがあり、初めて見た時はショックでした。清潔に綺麗にしていきたいです。
真冬にも関わらずエアコンが入れられてないと聞いています。とても寒がっています。設備もあるはずですので、快適に学べる環境づくりをしていただきたいです。
- ◆ダンス部の活躍(コンテスト成績等)をダンス部のインスタアカウント以外で掲載してほしいです。(学校のインスタアカウント、LINE など) 強化クラブではないが、関西地区は強豪校が多い中、少人数で成果を出してきたのでお願いします。
- ◆食堂のメニューや値段を知りたい。
- ◆食堂をもっと充実させてほしい。男の子には量が少なすぎる。
- ◆食堂をもっと、生徒が買いやすい場にして欲しい。

【 保護者評価に対する校長所見 】

たくさんの貴重なご意見、本当にありがとうございました。最初に、精華高校に対しまして、多数の好意的なご意見を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。ただ、ご意見の中にあった学校や教員に対するご批判のお言葉は重く受け止め、今後改善、指導して参ります。

コロナ禍の3年間を通過して、教育のデジタル化が大きく前進しました。本校でも全館 ICT 化の工事を完了していますし、全生徒が一人一台のタブレットを持ち、新しい時代の主体的な教育を行っております。また、全ての生徒にスケジュール帳を持たせ、スケジュール管理の重要性を認識させると共に、高校時代の教育活動の記録を残して行くように指導しています。

保護者評価における設問「生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる」「生徒は礼儀正し

く、服装・頭髪等のマナーが守られている」「精華高校に入学させてよかった」の項目につきまして、多くの保護者の方々に高い評価して頂いておりますことは、我々教職員にとりまして大変励みになります。ありがとうございます。また、高校生活全般に関する項目では、全体的に高い評価を頂きました。精華高校の教育の充実を更に進めて参ります。

精華高校の社会における評価の低さにつきましては、特別強化クラブや強化クラブの指定により部活動が大変活発になり、地域社会における評価は確実に上がって来ております。今後、各コースの教育内容の充実や、大学進学実績の向上により本校の社会評価の上昇をめざして参ります。

◆生徒指導について

本校の生徒指導の方針に、多数の保護者の方々のご理解・共感を頂いておりますこと、感謝申し上げます。

「いじめ」につきましては、教職員一同「いじめは絶対に許さない」という方針の下に、しっかりと対応して参ります。何か気になることがございましたら、遠慮なく学校の方にご連絡下さい。窓口を設けております。

携帯電話につきましては、時代状況も考え「持ち込み可」にしております。情報リテラシーの向上と共に、マナー教育にしっかり取り組んで参ります。

◆学習指導について

教育活動の基本である授業について、一部わかりにくい授業やうるさい授業があるとのことご指摘は真摯に受け止め、不断に改善を図って参ります。授業の年間計画・内容につきましては、シラバス（年間指導計画）をホームページ上で公開致しております。ぜひ、ご覧になって下さい。「わかりやすく充実した授業」「生徒が興味・関心を持って取り組める授業」につきましては、一定評価頂いております。今後更に、各教員が生徒の実態に合わせた授業の工夫・改善を行って参ります。本校では一昨年度より、教員の授業評価を行っております。「テストの得点だけではなく、いろいろな面から学習の評価を行っている」の項目につきましては、高評価を頂いております。

◆進路指導について

進路に関する情報提供につきましては、進路指導部を中心にしっかりとした情報発信を心がけています。保護者の皆様のご要望が強いことは、十分に認識致しております。本校は、生徒の多様な進路に応えられるように、丁寧なきめの細かい進路指導体制を取っております。

◆学校環境・設備についてとその他項目

校舎の耐震化につきましては、以前に建設会社2社に耐震調査を依頼し、本校は新耐震基準をクリアしていることを確認致しております。その際、校舎前面のタイルについて、地震の際はがれ落ちてくる危険を指摘されましたので、外壁工事の際に対策を講じています。校舎の外壁補修工事は全て終了致しました。施設設備の充実につきましては、校舎内壁の全面改修、また、生徒トイレの全館改修（洋式化）も済んでおります。

自転車置き場から校舎に至る通路につきましては、抜本的な改善策が必要だと考えております。体育館に空調設備を整備致しました。

生徒の校内美化に対する意識は以前より高まりましたが、更に実践的態度の育成に努めて参ります。食堂につきましては、来年度より経営者が変わります。生徒のニーズに合わせたメニューを、検討して頂いております。また、学校からの情報発信につきましては、ホームページの充実を図ると共に、一斉メールにより緊急時に関わらず迅速に情報を発信して参ります。一斉メールにつきましては、きめ細かい情報発信を行います。また、SNS等によるコースや部活動の情報発信も、充実して参りました。

Ⅲ 学校協議会

令和 8 年度 学校協議会 議事録

令和 8 年 9 月 5 日（土）10：30～12：30

参加者 東陶器校区自治連合協議会会長
西陶器校区自治連合協議会会長
福田校区自治連合協議会会長
精華高等学校同窓会会長
精華高等学校保護者会会長

精華高等学校 学校長 教頭 参与 事務長
主幹 教務部長 生徒指導部長 進路指導部長 入試広報部長

配付資料 令和 7 年度 学校評価結果報告書
令和 7 年度 学校経営計画および学校評価
保護者対象学校自己評価アンケート結果
令和 9 年度 学校案内

次 第 参加者紹介 校長挨拶 校内（授業）見学 校長現状報告 意見交換

1. 校長挨拶（10：50）

お忙しい中、ご参加いただき感謝いたします。昨日来、少し気温も落ち着きました。

地域住民の皆様・本校保護者の皆様・同窓会会員の皆様には、日々本校生徒及び本校へのご指導、ご協力、ご理解、誠にありがとうございます。

本校は今年 100 周年を迎えます。10 月 13 日にはオープニングイベントとして、くら寿司スタジアムにて、甲子園常連校の滋賀学園との親善試合を予定しております。ぜひお越しください。

又、メインイベントとしては、11 月 5 日ビッグアイにて、記念式典を執り行います。皆様にもご案内が届きますので、ご予約ください。翌日 6 日は創立記念日となります。

話題は変わりますが、今年大阪府民は私学授業料完全無償化となります。先日の大阪私学展では、本校は地理的にはアウェイではありますが、風を感じました。

本日は限られた時間の中ではございますが、本校の教育現場をご覧いただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。お手元の資料は、後ほどお目通しください。

2. 校内見学

各コース設定教科「探究」の授業見学及び施設見学（外部講師による実習多数）【外部探究多数】

- ・手話 ・アスリートへの調理実習 ・自衛隊員による救命救急実習 ・社会保障
- ・環境問題考察 ・オンラインによる遠隔授業 ・ジャグリング ・体育館での和太鼓 等

3. 参加者紹介

校長現状報告（11：50）

このところ、本校は落ち着いた教育環境が整っております。生徒は勉学、部活動に積極的に取り組んでいます。春先、問題行動もありましたが、本当に生徒はよく頑張っています。昨今専願入学者の割合が非常に高く、明確な動機を持って入学してくれている印象を持ちます。

また、強化クラブでは国民スポーツ大会女子剣道代表選手を輩出した剣道部。全国吹奏楽横浜大会出場の吹奏楽部。近畿常連の卓球部。夏の大会ベスト 16 の硬式野球部。そして、来年準強化指定されるダンス部の全国大会出場。一般部でも男子バレーボール部の活躍が目立っております。

それ以外の部活動もレベルを上げております。クッキング部は部員数も最多で、多様なジャンルで楽しんでいます。ハンドメイド部や歴史文化部の活動も定評になっています。

また、一般生徒もここ数年の呼び掛けによく応えてくれています。「挨拶をする・時間を守る・美化に努める」。ようやく定着してきたように思います。

さて、進学はと申しますと、大学進学実績が上向いてきました。関関同立合格はもとより、近大の指定校化。和歌山大学合格始め公立大学合格者が出始めました。それを支え、維持するためにも、教育環境の充実を考えました。

放課後の英検対策・公務員志望対策予備校や、大学生チューターによる自習室（3カ所）運営を拡大させました。時間は16時から20時、毎日です。

そして、根幹であるコース制についても内容の吟味を年々加え続けています。

あと1点、土曜日の探究は、各コース充実してきましたが、生徒の自主性を磨くため、次年度より土曜日の設定を外し、生徒は土曜日「自ら磨く」を実践します。

最後になりましたが、懸案の食堂改革にも着手しました。ランチ中心ですが、高校生のお子さんをお持ちの経営者さんが、よく考えてやってくれています。生徒にも好評です。

これからも、社会のニーズに応えられる学校運営をめざして参りたいと思います。

4. 意見交換

◆西陶器校区自治連合協議会会長

まず第1に、生徒が楽しんでいることはいいことだ。我々の高校時代（60年前）とは大違いで、ICTやグループワークなど、驚くばかり。

また、どの教室に入っても、気持ちいい挨拶をしてくれるのにも驚いた。

クラブも盛んなのは伝わってくる。野球部の活躍は校区でも話題になっている。これからも応援している。進学実績が上がっている報告も聞けて良かった。

しかし、道路拡張が進まない中、自治会に精華さんのスクールバスの苦情が寄せられるのも、事実あります。下の交差点での往来が難しいのは仕方ない事実です。

◆東陶器校区自治連合協議会会長

校舎内は本当に落ち着いている。各教室のデジタル化への特化にも驚く。我々はICTの隆盛についてはいけませんが、子ども達は生き生きしている。この学校はICTの先駆校だと思う。

フリーアカデミーコースに関する問い合わせを受けることが多い。関心がある方がおられるが、知識を持ち合わせていないので、また教えて欲しい。

授業料の無償化と聞いたが、いっそ全私学校化をはかる方が、教育環境は整うのではないかなと思う。

◆福田校区自治連合協議会会長

今年4月から連合自治会長につきましたので、私も1年生です。よろしくお願いします。

こちらの学校には、祭礼のご協力など、感謝しております。

さて、校内見学の際は、校長が言われたとおり、皆さんよく挨拶をしてくれました。社会生活の中で一番大切なことですので、大切にしてください。

ここの生徒さんは、本当に楽しそうに学んでいるので、見ていて嬉しくなった。

◆精華高等学校同窓会会長

私は地元在住なので、精華の生徒さんをよく見かけます。朝の見守りでも、声を出して挨拶してくれるのはこちらの生徒さんです。気持ちいいです。

校内の様子は、トイレ・廊下の掃除はよくできていると思います。ただ、エレベーターがあればなあと思います。

進学実績等、結果が出ているのは嬉しいのですが、進学情報等での偏差値の低さには落胆しています。何とかならないものなのでしょうか。

◆精華高等学校保護者会会長

クラブ員を始め、生徒の挨拶には驚いています。嬉しい限りです。

兄弟で子どもをお預けしてきましたが、6年前とはまるで違う雰囲気です、本当によく頑張っているなあと思います。

◆主幹

簡単にいいますと「何でも屋」です。ICT の導入、行政との折衝。その他、教育環境整備に従事しています。何なりとお申し付けください。

◆教務部長

授業・成績・タブレットの管理を担当しています。

ここ最近は、全コースに対応できる教員育成が急務となっています。とても重要なことですが、一番難しく進めにくい内容でもあります。

◆生徒指導部長

4 月下旬より問題行動が顕著になり、いつも以上ハイペースに処理しています。中でも、トイレでのいたづらが、常軌を逸するような内容で、心痛めています。

また、珍しく、喫煙具の持ち込み情報が立て続けに出ています。

◆進路部長

進学に関しては、数もさることながら、内容も充実してきたように自負しています。大学 100 名以上・専門学校も同じく 100 名以上。短大若干名。

就職は、20 名の希望者に対し、600 社を超える求人をいただいています。

校長からもありましたが、放課後予備校及び、自習教室の取り組みは本校の強みになっていくと考えています。

◆入試広報部長

今年組織された部署で、私が初の部長となります。

授業料完全無償化の風を掴み、本校へ生徒を運ぶ努力を考えなければいけない。設備・部活動・教育内容で差別化を図る。

私学の層の厚さを武器にできる広報を考える。

専願率を更に上げる努力が必要と考えています。

以上
記録：参与
12：35

IV 総合評価

建学の精神（教育目標）を、学校関係者に浸透させる努力を重ねて行く。肯定的見解の割合は51.4%と過去最高ではあるが、更に努力する必要がある。生徒の愛校心について、昨年度の肯定的見解の割合は57%、今年度は56.8%と、過去の数値に比べて確実に上がって来ているが、もっと向上させなければならない。また、保護者評価において「精華高校の社会における評判は良い」の肯定的評価は約55%である。本校の社会的評価を上げるために、地域に貢献できるコース活動、部活動を更に推し進める。また、大学進学率および大学進学実績の向上を図る。生徒の自己肯定感を高める教育活動を行う。

本校の生徒指導は、中学校・地域・保護者から評価されている。今後も生徒指導に強い精華という評価は堅持したい。ただし、一部頭髪指導等、厳しすぎるという意見もあることに留意したい。髪型や校則等、もう少し緩めてもいいのではないかという意見も増えてきている。生徒・教員・保護者の意見を参考にしながら、時代に合わせた柔軟な対応を取りたい。いじめについては、絶対に許さないという強い姿勢で臨む。いじめの兆候を早期に発見し、すばやく対応していく。進路指導については、生徒の多様な進路に応えられるきめ細かい指導を継続したい。進路の情報発信については、保護者からの要望が強いことに十分留意する。学習指導については、各教員が生徒の実態に合わせた工夫・改善を行っているが、保護者・生徒の要望が強い「わかりやすい授業」については、更に工夫を重ね研鑽を積んで行く。

情報教育、人権教育、環境教育については、具体的な方策を立てながら強化する必要がある。国際理解教育・国際交流についても、さまざまな工夫をして充実させる必要がある。教員研修、教員の資質向上については、抜本的な改革が必要である。

本校は保護者、中学校、地域に信頼される、地域に根ざした学校をめざす。また、時代の要請に応えるべく、学校改革、教育改革を思い切って進め、時代が求める新しい教育に取り組んでいく。

V 資料①

令和7年度 保護者対象 学校自己評価アンケート結果

A：そう思う

B：ややそう思う

C：あまりそう思わない

D：そう思わない

I 高校生活全般に関する項目

設問	評価				
	A	B	C	D	不明
1 生徒は精華高等学校での高校生活を楽しんでいる。	43%	39%	13%	5%	0%
2 生徒は礼儀正しく、服装・頭髪等のマナーが守られている。	63%	33%	4%	0%	0%
3 生徒は学園祭文化の部・体育の部、校外研修・コース別宿泊研修などの学校行事に積極的に参加している。	72%	26%	1%	1%	0%
4 学校はコース制などの独自の教育活動に取り組んでいる。	77%	19%	2%	2%	0%
5 生徒に命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	40%	49%	10%	1%	0%
6 学校は生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。	36%	49%	12%	3%	0%
7 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。	55%	37%	7%	1%	0%
8 部活動は活発である。	57%	33%	6%	4%	0%
9 保護者会活動は活発である。	30%	50%	17%	3%	0%
10 生徒に関する個人情報を守られている。	54%	39%	6%	1%	0%

II 生徒指導に関する項目

11 学校の生徒指導の方針に理解・共感できる。	41%	44%	11%	4%	0%
12 学校はいじめ等の問題行動が起こりにくい環境を整えている。	38%	41%	16%	5%	0%
13 生徒の携帯電話の所持・使用に関して、学校の指導方針に理解・共感できる。	47%	43%	8%	2%	0%
14 学校は生徒指導面での連絡や、保護者との意思の疎通をきめ細かく行っている。	38%	44%	16%	2%	0%

III 学習指導に関する項目

15 学校ホームページに掲載されている年間指導計画（シラバス）を見ている。	18%	40%	24%	18%	0%
16 内容がわかりやすい充実した授業が多い。	23%	59%	16%	2%	0%
17 生徒が興味・関心を持って取り組めるように、工夫している教員が多い。	25%	55%	17%	3%	0%
18 テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。	55%	37%	7%	1%	0%
19 授業・講座等で、進路志望達成に必要な学力を身につけることが出来ている。	24%	54%	16%	6%	0%
20 各コースにおける専門教科の授業内容は充実している。	42%	48%	8%	2%	0%
21 学校は検定・資格取得に向けての指導に熱心である。	33%	43%	18%	6%	0%

IV 進路指導に関する項目

22 学校は進路に関する連絡や情報提供を十分にしている。	33%	49%	13%	5%	0%
23 学校は進路に関する保護者や生徒の相談に乗ってくれる。	38%	50%	9%	3%	0%
24 生徒対象の進路指導部による進路説明会は、生徒の進路決定に役立っている。	32%	53%	11%	4%	0%
25 クラス懇談会や進路説明会は、大変参考になる。	35%	51%	11%	3%	0%

V 施設・設備及び環境・衛生に関する項目

26 学校の施設・備品は、学習環境の面においてほぼ満足出来るものである。	31%	43%	19%	7%	0%
27 教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている。	28%	47%	23%	2%	0%
28 学校は清掃が行き届いていて、清潔である。	38%	42%	17%	3%	0%

VI その他の項目

29 電話の対応や来校時における教員・事務員の接し方は丁寧かつ適切である。	58%	34%	5%	3%	0%
30 学校のホームページは充実しており、よく閲覧している。	23%	47%	21%	9%	0%
31 食堂は生徒にとって利用しやすく、充実している。	13%	29%	39%	19%	0%
32 緊急時における学校と保護者の連携体制が構築されている。	29%	56%	13%	2%	0%
33 学校が発刊している新聞「華」や配布される各種プリント類は必ず読んでいます。	39%	33%	19%	9%	0%
34 精華高校の社会における評判は良い。	16%	46%	27%	11%	0%
35 子どもを精華高校に入学させて良かったと思える。	52%	39%	7%	2%	0%

V－資料②

令和7年度 精華高等学校 学校経営計画及び学校評価

- 1 建学の精神（社会に有為な人材を育成する）および教育目標（自立・協調・創造）に基づき、生徒の可能性を最大限伸ばす教育を行う。
- 2 生徒指導を充実させ、基本的生活習慣の確立とマナーの向上をめざす。挨拶がしっかり出来て、時間を守り美化意識の高い生徒を育成する。
- 3 きめ細かい進路指導の下、生徒の多様な希望進路を実現する。
- 4 各コースの教育内容の充実・発展をめざす。また、各コースの特徴を強く打ち出すと共に専門性を高める。特に探究授業に特徴を持たせ、生徒の主体性を伸ばす教育を行う。
- 5 SG コースを中心に、大学進学実績を向上させる。
- 6 FA コースの生徒を手厚く育てる。不登校特例校の特例を生かし、本校独自の教育を行う。不登校生に対する対策を講じ、学校復帰をめざす。
- 7 部活動を活性化させ、その活動を通じて地域社会に貢献する。芸術・文化・スポーツ活動の盛んな高校をめざす。

中期目標（到達目標として）

PLAN（重点目標）	DO（具体的取り組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
1 日々の授業を充実させると共に、生徒に将来の目標を持たせ、意欲的に学習に取り組む環境を整える。	教員の授業に対する意識を高める。工夫されたわかりやすい授業を実践する。授業公開を増やす。注意点 30 点を 35 点に引き上げ、生徒の授業に対する意識を高める改革を行った。 引き続き、成績に対する生徒の危機感を高め、しっかり学習するように指導していく。 教員の授業評価を、引き続き実施する。各教員の授業評価をもとに、授業技術向上のための研修を行う。 <u>学校自己評価「授業公開状況」</u> <u>「学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている」</u>および<u>各コースの教育内容に関する学校自己評価、また保護者評価「内容がわかりやすい充実した授業が多い」「生徒が興味・関心を持って取り組むことが出来るような授業が多い」「各コースにおける専門教科の授業内容は充実している」</u>等を確認しながら評価する。	教員の良い授業に対する意識は、強くなった。 工夫されたわかりやすい授業を、常に意識してほしい。 教員は、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。 授業公開は機会あるごとに行った。 教員の授業評価を、昨年に引き続き秋に行った。 その後、授業評価についての分析報告会を行い、教員の意識を高めた。	来年度も引き続き、教員の授業評価を行う。 その結果に基づき、分析報告会を実施する。 公開授業を、出来る限り増やしていく。 生徒の授業に対する意識を更に高めるよう、学校を上げて指導していく。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
2 特別強化クラブである吹奏楽部を中心に、強化クラブである硬式野球部・サッカー部・卓球部・剣道部・演劇部・女子バスケットボール部などの部活動を活性化させ、活動実績に結びつける。 これらのクラブに対し、学園として金銭的な援助を行う。 盛んな部活動を通じて地域社会に貢献して行く。 芸術・文化・スポーツ活動の盛んな精華高校を実現する。	部活動推薦生徒（専願）の本校入学者数を増やすため、優遇制度の拡充を行って来た。 令和8年度、大阪府の授業料完全無償化に伴い、優遇制度を奨学金制度に移行した。 本校の奨学金制度は充実している。 充実した部活動の様子を広く SNS 等で発信し、広報活動に資する。 SEIKA クラブトライアル（旧クラブ活動体験会）・オープンスクール等の募集活動の参加人数を増やし、部活動推薦生徒（専願）の入学生増加を図る。 吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部・演劇部等を中心に、地域社会に貢献して行く。 <u>学校自己評価における、「部活動」の項目並びに保護者評価「部活動は活発である」の項目において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	部活動体験会・オープンスクール等の生徒募集行事の参加人数を増やすことは出来たが、部活動推薦生徒（専願）の入学生の増加はかなわなかった。 吹奏楽部・女子ダンス部・ボランティア部等を中心に、地域社会に貢献することが出来た。 部活動の様子を広く発信するために、SNS による発信（広報活動）が益々盛んになって来た。 保護者としても、Instagram を始め精華の SNS を見るのが楽しみだという意見も出てきた。	クラブトライアル（部活動体験会）・オープンスクール等の生徒募集行事の参加人数を増やし、部活動推薦生徒（専願）の入学生増加を図り定員 80 名を満たす。 来年度からは女子ダンス部を新たに強化クラブに加える。 部活動推薦生徒（専願）の確保のために優遇制度（奨学金制度）は、引き続き行う。 SA コースを中心に部活動を頑張る生徒を増やし、学校を活性化する。 SNS による広報活動を更に充実させ、学校の様子を積極的に発信して行く。

PLAN (重点目標)	DO (具体的取組み)	CHECK (自己評価)	ACTION (改善のための方針)
3 NS コース 高校生としての自覚を持たせ、生徒の基本的生活習慣の確立をめざす。落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒を育てる。各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせる。 NS 探究などコース独自の授業を充実させ、広報活動を活発に行い生徒募集につなげる。	欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 教員間の連携を密にする。コース教員だけではなく、各教科担当者との連携により、強力な指導体制を構築する。 コース行事ごとに、生徒の様子を SNS で発信し、コースの魅力を積極的に伝える。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、NS コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	高校生としての自覚が持てている生徒もいるが、同じ生徒が欠席や遅刻など時間にルーズであった。 また、探究授業の土曜日に欠席が多数出た。 授業においては、教科担当によって、授業を受ける姿勢に大きな差がある。全般的に、基礎学力が低下していると感じる。 各家庭・保護者との連携を密に行うことについては、努力しているが、仕事の都合上、連絡がつきにくい家庭が増加している。 授業中・昼食時の巡回はしっかり行うことが出来た。 教員間の連携については、学年がまたがった場合難しい場面があった。 コース朝礼では、伝達事項がスムーズに行えた。 また、各教員からの講話もよかった。	落ち着いた雰囲気の中で授業を受ける体制を作り、日々の授業を大切にする生徒の意識を育てることは、このコースにおいては特に重視する。 また、いじめや生徒間トラブルが起きないように、協調性や社会性を養うことにもしっかり取り組んでいきたい。 各自の進路に結びつく基礎力・応用力を身につけさせ、各自の希望に寄り添った進路指導を確実に行いたい。 各家庭・保護者との連携を密に行うことに、更に努力したい。 コース朝礼を充実させる。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
4 SA コース 高校生活の基本的な生活習慣・考え方を身につけさせる。 勉強・部活動のともに頑張る生徒を育てる。 各自自分をしっかり分析し、それぞれの将来像を描かせる。	高校生としての基本的なマナー（時間厳守や挨拶など）を身に付ける指導を行う。 欠席・遅刻を出来る限り減らすために、各家庭・保護者との連携を密に行う。 授業中・昼食時の巡回を実施する。 各授業の準備、着席指導の徹底を図る。 教員間の連携を密にする。 コース独自の科目や行事を通して、進路を見据えた指導を行う。 SNS などを通じて、広くコースの取り組みを発信する。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SA コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	コース朝礼は充実した時間で良かった。生徒の話を聞く姿勢も良く、話しやすい雰囲気だった。生徒が前で話す機会や、スポーツ大会の表彰なども良かった。 スタディサプリの活用が十分に出来なかった。 総合的な探求の時間は、改善する余地もあるが、概ね充実している。 生徒指導については、退学につながる大きな案件が出てしまった。窃盗・暴言・バイク乗車・喫煙などがあり、「心の教育」を粘り強くやっていく必要がある。 遅刻指導は一部の生徒に偏っている。 進路については、2年次のフューチャーガイダンスは、進路意識を高める意味で良いと感じた。 学校行事には、積極的に参加している。	基本的な生活習慣を、しっかり確立させる指導に力を入れたい。 総合的な探究の時間については、見直す必要がある。 勉強・部活動のともに頑張る生徒を育てるために、生徒指導・進路指導を工夫したい。 上にも書いたが、「心の教育」を粘り強くやっていく必要がある。 早朝学習は、曜日を決めて実施して行きたい。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
5 i-Tech コース 情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。そのために情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。進路希望に対応できる、検定取得に重点を置く。卒業までに情報に関する検定取得率 100%をめざす。	保護者との連携を密に行い、生徒一人一人が自己管理を適切に行えるように指導し、欠席・遅刻を出来る限り減らすように努める。コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。希望進路の実現に向けて、積極的に教員がアプローチする。生徒の情報をコースで共有し、組織的に対応できる体制を整える。教室内の美化を心がけ、気持ちよく過ごせる環境を作る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、IT コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。そのために情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。これらの目標、コース理念は十分に達成することが出来た。検定合格率は、2級・準1級ともに初回受験で 80%以上を達成し、再受験を含めた最終的な取得率は 90%以上となった。各クラスの生徒について、教員間の連携は非常に良好で、担任の課題をコース全体で共有・解決する体制が出来ている。	情報社会で主体的に活躍できる人材を育てる。そのために情報の専門性を高め、情報化社会に対応出来るスキルを持った生徒の育成を図る。また、基本的生活習慣の確立、および挨拶・礼儀・身だしなみ等のマナーの向上をめざす。以上のコース理念を引き続き掲げ、社会に有為な人材を育てる。コンピュータに関する基礎的な技術は、生徒全員が習得出来るようにし、検定取得率 100%をめざす。筆記試験科目については、今後「IT パスポート」や「MOS」など、より難しい資格に生徒が挑戦できるようにする。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
6 環境福祉コース 高校生としての自覚を持たせ、主体的に物事に取り組む姿勢を育む。 相手の立場を考えた行動を取るように促す。 コースの特色を活かした教科実習や活動を通じて、将来の進路決定につなげる。 丁寧な言葉遣いを心がけ、教室の美化に努める。	生徒の要望を出来る限り取り入れ、精華高校でしか出来ない独自の経験を積み上げる。 希望進路の実現に向けて、生徒の情報をコース内で共有し、組織的に対応できる体制を整える。 生徒と個別に話す時間を出来るだけ増やす。 生徒と教員で掃除をする。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、EW コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	コースの生徒について、全体的に学力はそこまで高くないが、欠席も少なく基本的に真面目な生徒が多いのでしっかり教育出来た。 ただ、支援教室在籍生徒が増加しており、教科指導（英語や特に数学）において難しい面がある。 コースの特色を活かした教科実習やさまざまな活動を通じて、将来の進路決定につなげることが出来た。 介護職員初任者研修を行い、資格を取らせることが出来た。 コース全体で早朝学習を行った。結果、遅刻が少ないコースとなった。 楽しみながら勉強することを身に付けさせられた。 コース内の協力体制が成立しており、日々安心して生徒と向き合えた。	来年度も引き続き、早朝学習に毎日取り組み欠席・遅刻の少ないコースをめざす。 支援教室在籍生徒が増加して行く傾向は高いが、教科指導をしっかりやることが課題である。 コースの特色を活かした教科実習やさまざまな活動を通じて、将来の進路決定につなげさせる。 介護職員初任者研修を行う。丁寧な言葉遣いを心がけ、教室の美化に努める。 引き続きコース内の協力体制をしっかり取って行く。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
7 SG コース 全学年において、確実な学力の担保を図り、本校における大学進学実績の向上をめざす。多様なカリキュラムを通じて基礎学力を養い、さまざまな分野に興味・関心を持つ生徒を育てる。 1 年生は、確かな学力の確保（偏差値 50）と将来を見据えた学びを実践し、オリジナリティにあふれた学校生活をめざす。 2 年生は、受験に向けて、目標を明確に持ち、それに向けた行動を起こす（偏差値 50 達成）。 3 年生は、希望進路の実現に全力を尽くす。具体的には関関同立・4 女子大学の合格者を多数出す。 コースを上げて、SG コース入学生の増加を図る。	放課後・長期休業中の受験講座・指導を充実させる。 学内自習室を最大限活用し、生徒の実力を伸ばす。 早朝学習・大学見学会・進路講演会等を実施する。 生徒募集対策室・広報を中心に、募集・広報の体制を強化し、SG コース入学生の増加を図る。 <u>学校自己評価、また保護者評価等を確認しながら、SG コース長とのヒアリングをもとに評価する。</u>	全学年とも学力の向上を図ることができた。 1 年生は、英検合格も含めて学習習慣を身につけることが出来た。 2 年生は大学見学や高大連携授業によって、具体的な進路目標につながった。ただ、偏差値の著しい向上は果たせなかった。 3 年生は、関関同立を始め和歌山大学・奈良県立大学の現役合格など、過去にない進学実績を上げることが出来た。 放課後のオンライン英会話、英検対策、自習室の活用により充実した学習活動が展開できている。 生徒募集活動については、コースをあげて中学校・塾へのアプローチを行ったが、現実はなかなか厳しい結果となった。	生徒募集対策室・入試広報部・コースを中心に、募集・広報の体制を強化し、SG コース募集定員 20 名の専願による確保をめざす。 オンライン英会話や、学内自習室・予備校を最大限活用し、引き続き生徒の実力をしっかり伸ばす。その結果、進学実績を上げる。 早朝学習・大学見学会・進路講演会等を実施し、コースの教育内容を充実させる。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
8 FA（フリーアカデミー）コース 中学校生活を不本意ながら十分に送れてこなかった生徒達に対して、学力の補充はもちろん、このクラス内での級友や教員とのコミュニケーション力を付け、学校生活の楽しさを感じられるようなコースにする。	多様な問題を抱える生徒一人ひとりの状況に寄り添い、学校生活を楽しく送れるような環境を作る。 生徒との対話を重視し、定期的な面談を行う。登校が難しい生徒に対しては、早めに保護者を巻き込んでの対応を行う。 学校設定科目や、探究の授業において、級友同士が交流を深められるようにする。 一人も取りこぼさず、進級をめざす。 生徒の状況に合わせた授業形態を整え、適切なフォローを行う。 教務や情報資料室など他部署と連携し、シームスやパノプトなどのシステムを効率的に運用し、関連の先生方への情報共有を行う。 システムの問題点を精査し、次年度への適切な引き継ぎを行う。 教科担当者との密な連携を行う。 <u>学校自己評価を参考に、実施状況を評価する。</u>	1年生は、昨年（全員進級）と同じように取り組んでも、うまくいかなかったり、逆に思ったより反応が良かったりすることが多い。 生徒の性質が全く異なるため、今後も生徒の状況にあわせて対応していかなければならない。 2年生については、入学時よりもかなり成長し、波はあるがある程度精神的に落ち着いてきた生徒が増えた。 「学びの多様化学校連絡協議会」に参加したり、多くの関係者の視察を受け入れたり、意見交換する中で、本校の取り組みが高く評価されている。 ただ、登校させて授業を受けさせることは意義のあることだが、生徒の将来につながる指導をしっかりと行きたい。	まずは、コース生全員の進級をめざしたい。 また、2年生は将来の進路を考える1年間にしたい。 教務や情報資料室など他部署と連携し、シームスやパノプトなどのシステムを効率的に運用し、関連の先生方への情報共有を行いたい。 また、教科担当者との密な連携を行っていく。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
9 学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。 生徒の美化意識を高める。 保護者・生徒からの要望の強い食堂の抜本的な改革を、引き続き検討して行く。	視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。 講話や清掃指導により、生徒の美化意識を高める。 グラウンド横の通路を整備する。 引き続き食堂の改革を検討して行く。 <u>学校自己評価における、「環境教育」の項目並びに、保護者評価「学校の設備・備品は、学習環境の面においてほぼ満足できるものである」「教室・特別教室・運動場などの施設は、活動しやすいように整備されている」「学校内は、清掃が行き届いて、清潔である」の3項目において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	視聴覚室については、予算の関係で出来なかった。 タブレットの活用およびアクティブラーニングを意識した授業は、増えつつある。 Eルーム(ICT 教室)は、活発に利用されている。 グラウンド横の通路については、教員の協力により昨夏に整備することが出来た。ただ、抜本的な解決には至っていない。 生徒の美化意識を高めるための取り組みは、講話・清掃指導等により学校・各コースで進んでいる。 食堂の改革については、次年度からの業者の変更に伴い、実現の目処が立った。	近い将来、視聴覚室の老朽化した機材を、最新の設備に入れ替える。 今後更に、学校のDX化を進めていく。 引き続き、学校施設・設備の充実を図り、清潔・安全な学校をめざす。 保護者・生徒の要望の強い食堂については、生徒のニーズに沿った魅力的な食堂を作り、食育に資する。

PLAN（重点目標）	DO（具体的取組み）	CHECK（自己評価）	ACTION（改善のための方針）
10 広報の充実・強化、ホームページの更なる充実を図り、本校の魅力を積極的に発信出来る体制を確立する。 SNS 等による情報発信を、部活動だけでなくコースの教育内容を含めて強化する。	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図る。 ホームページの情報発信を、更に充実させる。本校の斬新な広報を継続する。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を活発に行う。 <u>保護者評価「学校のホームページは充実している」において、評価の肯定率 70%以上をめざす。</u>	学校広報を強化し、本校のイメージアップを図ることは出来ている。ホームページの情報発信についても充実してきている。 各コースに担当を置き、SNS 等による情報発信を行うことは出来た。 また、各クラブが SNS による活動の発信を行っている。保護者から精華のInstagram による発信を楽しみにしているとの声を頂く。	引き続き、広報の充実・強化を図り、本校の部活動・コースの魅力を積極的に発信する。 SNS 等による情報発信を活性化させる。 また、各クラブが SNS による活動の発信を活発に行って行く。